

日本生物学的精神医学会理事会議事録

武田雅俊 (理事長)

日本生物学的精神医学会理事会議事録 (案)

日 時：2010 年 10 月 7 日 (木) 8 : 00 ~ 10 : 30

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 4 階「桜」

(〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-14-2)

出席者：14 名

武田雅俊 (理事長), 小山 司, 加藤忠史,
加藤進昌, 曾良一郎, 米田 博, 大久保善
朗, 尾崎紀夫, 佐野 輝, 白川 治, 福田
正人, 山脇成人 (以上理事), 中村 純
(会長), 神庭重信 (オブザーバー)

欠席者：6 名

染矢俊幸, 本橋伸高, 平安良雄, 笠井清澄
(以上理事), 松岡洋夫, 渡辺義文 (以上監
事) (順不同, 敬称略)

議 題：

1. 前回 (2010/5/21) 理事会議事録承認について
2. 理事長報告
3. 会計報告 (米田理事, 染矢理事)
 - ①2009 年度決算報告 (2009 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日)
 - ②2010 年度予算案 (2010 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日)
4. 会員数及び新入会員に関する件 (小山理事, 大久保理事)
5. 各委員会報告
 - 1) 総務委員会 (小山理事, 大久保理事)
 - 2) 広報委員会 (山脇理事)
 - 3) 財務委員会 (米田理事, 染矢理事)
 - 4) 国際交流委員会 (平安理事, 武田理事)
 - 5) 学術賞委員会 (加藤 (忠) 理事)
 - 6) 倫理委員会 (本橋理事, 白川理事)
 - 7) 将来計画委員会 (加藤 (進) 理事, 笠井理事)
 - 8) 関連学会対応委員会 (佐野理事)
 - 9) 編集委員会 (曾良理事, 福田理事)
 - 10) ブレインバンク設立委員会 (加藤 (忠) 理事)
 - 11) 研究推進ワーキンググループ (加藤 (忠) 理事, 笠井理事)
 - 12) うつ病対策ワーキンググループ (加藤 (忠) 理事)

6. 学会賞選考の件 (加藤 (忠) 理事)
7. 国際学会発表奨励賞選考の件 (加藤 (忠) 理事)
8. WFSBP 報告 (平安理事)
9. 第 32 回年会準備報告 (中村会長)
10. 第 33 回年会準備状況報告 (加藤 (進) 次期会長)
11. 第 34 回年会について (武田理事長)
12. 第 35 回年会 (WFSBP 2013) について (武田理事長)
13. その他
 - 名誉会員推戴の件

1. 前回理事会 (2010/5/21) 議事録承認について
議事録 (案) が配布された。特に訂正箇所なく承認された。

2. 理事長報告 (武田理事長)
武田理事長より, 就任の挨拶があった。
今後の活動方針などが述べられ, 関連学会対応委員会, 広報委員会を新たに設置し, ブレインバンク・ワーキンググループを設立委員会とし, 研究推進ワーキンググループ, うつ病対策ワーキンググループを新たに設置したことが説明された。
また, 国際交流委員会の活動の一環として, 2011 年の WFSBP の誘致するため, WFSBP ワーキンググループとして活動開始したことが報告された。

3. 会計報告 (米田理事)

- 1) 2009 年度決算について
収入 13,402,024 円に対し, 支出 18,649,329 円であり, 赤字ではあるが, 適正に運営されていることが報告された。本年度はブレインバンク設立委員会など委員会活動が活発であり会議費がかかったこと, またそれに関連して通信費などがかかったことが要因で, 活発な活動の結果であるので, 赤字は認められるとの指摘があり, 承認された。次期繰越金は 27,920,374 円である。また, 今後も活発な委員会活動が予想されるため, 必要な場合には定期預金の取り崩しを認めることとなった。

2009 年度決算は松岡、渡辺両前監事により監査され、適正に処理されていることが認められたことが報告され、承認された。

2) 2010 年度収支予算案について

前年度の実績を踏まえて、予算収入は 15,465,000 円に対し、支出 15,435,000 円として計上され、承認された。

4. 会員数及び新入会員に関する件 (小山理事)

1) 会員異動報告

2010 年 9 月 30 日現在で 1,652 名の会員がいることが報告された。

内 訳：名誉会員	9 名
評議員	226 名
正会員	1,414 名
賛助会員	3 社

2) 新入会員の報告

新入会員 90 名が報告され、承認された。

3) 物故者について

2010 年度中に 8 名の会員が逝去したことが報告され、そのうち、4 名は名誉会員であったことが、特に報告された。評議員会にて黙祷が捧げられる。

5. 各委員会報告

1) 総務委員会

小山委員長より、会則改訂について報告された。会則改訂は、会員増加を目的として、学生・若手会員の会員種別を創設し、その会費を半額とすること、また、時限措置として新規入会者の年会費 1 年分を免除することが主眼であること、既に評議員には書面にて通知していることなどが説明され、検討された。若手会員の資格について、「大学卒業後 5 年以内」とすることなど訂正が提案され、承認された。会則は評議員会で承認後に改訂され、会則に基づく入会条件での入会が認められる。

2) 広報委員会

山脇委員長より、学会ホームページの英語ページのデザイン案が提示され、検討の結果、予ねてより改訂の要望のあった日本語ページも併せてリニューアルすることとなった。なお、リニューアルにあたっては、ホームページ作成費として 30 万円程度の支出が見込まれるが、リニューアル費用は 2011 年度予算に計上することが提案され、

確認された。

3) 財務委員会

米田委員長より、財務状況については会計報告で報告され、特にないとの報告があった。

4) 国際交流委員会

平安委員長欠席のため、武田理事長より、主に WFSBP に関する報告となるので、WFSBP 報告の際に報告することが述べられた。

5) 学術賞委員会

加藤 (忠) 委員長より、学術賞、国際学会発表奨励賞ともに審査され、受賞者を決定したことが報告された。特に学術賞について、通例、1 名を選出することとなっているが、応募者 2 名の甲乙つけがたく、2 名を選出したことが報告された。

6) 国際交流委員会

前理事会において 2013 年 WFSBP 大会の日本誘致を目指すことが決定されたのを受け、WFSBP ワーキンググループを設置し活動開始し、ワーキンググループに 1 名を追加して国際交流委員会としたことなどが報告された。

7) 倫理委員会

白川委員より、「利益相反の取り扱いに関する指針」の暫定案が提示され、実際の策定および運営のために利益相反委員会の設立が提案された。白川理事を委員長として外部委員 1・2 名を含む 5 名程度で校正されることとなり、承認された。委員の選任は白川理事が行う。

8) 将来計画委員会

加藤 (進) 委員長より、会員増加の件については総務委員会で会則改訂などの処置がとられ、また、若手シンポジウムについては第 33 回年会にて準備中であることが報告された。

9) 関連学会対応委員会

佐野委員長より、特に報告事項がないことが報告された。

10) 編集委員会

曾良委員長より、以下の通り報告された。

①雑誌のサイズを B5 から A4 に変更したこと。

②少し遅れ気味ではあるが、順調に刊行していること。

③「私と国際学会」, 「WFSBP だより」などの企画を掲載中である。

④年会抄録号が機関誌のサプリメントとして年 5 冊の発行となった。但し, 年会抄録号は表紙は機関誌と同様であるが内容は会長に一任される。

⑤ J-STAGE に掲載されている。

11) ブレインバンク設立委員会

加藤 (忠) 委員長より, 2011 年 5 月に開催される第 33 回大会に合わせて販売できるように, ブレインバンクの本の発行を準備中であることが報告された。また, 倫理指針と設立要綱について, 作成中の案が提示され, 今後委員会で検討し決定する予定であることは報告された。決定された指針と委員会報告書は機関誌に掲載される予定である。

12) 研究推進ワーキンググループ

加藤 (忠) 委員長より, 「脳科学推進プログラム」や「こころの健康政策構想会議」, アクションプランに基づく国の施策などへの働きかけと状況について報告された。

13) うつ病対策ワーキンググループ

加藤 (忠) 委員長より, 前回理事会から特に進んでいないが, 前回理事会終了後に日本うつ病学会, 日本心身医学会, 日本精神神経学会との合同で, 「うつ病対策の総合的提言」を発表し, 一定の反響があったことが報告された。

6. 学会賞選考の件

第 19 回日本生物学的精神医学会学術賞受賞者について以下の通り受賞者が報告された。

授賞式は 10 月 8 日 (金) 18 : 00 より門司港ホテルにて懇親会中に行われる。

受賞者: 高木 (林) 朗子 (Dept. of Psychiatry, Johns Hopkins Univ. Sch. of Med.)

受賞論文: Disrupted-in-Schizophrenia-1 (DISC1) regulates spines of the glutamate synapse via Rac1

掲載誌: Nature Neuroscience

受賞者: 高橋 英彦 (放射線医学総合研究所 分子イメージングセンター)

受賞論文: When your gain is my pain and your pain is my gain; Neural correlates of envy and schadenfreude

掲載誌: Science (2009)

7. 国際学会発表奨励賞選考の件

国際学会発表奨励賞について, 受賞者が以下の通り報告された。授賞式は学会賞と同様に 10 月 8 日に行われる。

< 2009 年度前期 >

受賞者: 吉見 陽 (名古屋大学大学院医学研究科 医療薬学)

発表演題: Proteomic analysis of the lymphoblastoid cell line in the Japanese schizophrenic patients.

参加学会: XVII World Congress on Psychiatric Genetics.

受賞者: 和久田智靖 (浜松医科大学精神科神経科)

発表演題: Perinatal asphyxia reduces dentate granule cells and exacerbates methamphetamine-induced hyperlocomotion in adulthood

参加学会: 12th International Congress on Schizophrenia Research

8. WFSBP 報告 (武田理事長)

平安理事欠席のため, 武田理事より, いかの通り報告された。

① WFSBP 2011 Plague 参加の呼びかけ

2011 年 5 月 28 日 (土) ~ 6 月 4 日 (金) に開催される大会について, 演題締切が 2010 年 12 月 15 日 (水) であること, ツアーの企画もあるので, 日本から多くの会員が参加されることが要望された。

② WFSBP 2013 Kyoto の準備状況

・日本神経化学会および日本神経科学会が開催する Neuro 2013 と連携することとなり, 2013 年 6 月 19 (水) ~ 23 日 (日) が Neuro 2013, 23 日 (日) ~ 27 日 (日) に WFSBP 2013 と日本生物学的精神医学会年会が開催される。

・Local Organizing Committee (LOC) のメンバーを選定中である, 近日中に依頼する。また, コア委員として 10 名の会員に依頼し, 協力いただく予定。

・SOBP (米国) からの参加は個人資格とする予定。

③ WFSBP 役員選挙について

平安理事が Secretary-Treasurer に就任した。

9. 第 32 回学会準備報告 (中村会長)

第 32 回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2010 年 10 月 7 日～9 日

会場：リーガロイヤルホテル小倉 (福岡県)

会長：中村 純 (産業医科大学精神医学教室)

※第 22 回日本アルコール精神医学会, 第 45 回日本アルコール薬物医学会学会, 第 13 回ニコチン薬物依存フォーラムと同時期開催。

10. 第 33 回年会について (加藤 (進) 次期会長)

第 33 回年会の準備状況について以下の通り報告された。

会期：2010 年 5 月 21 日 (土)～22 日 (日)

会場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京都)

会長：加藤進昌 (昭和大学医学部精神医学教室)

11. 第 34 回年会について (武田理事長)

前回理事会にて, 以下の通り決定されたことが確認された。

会期：2012 年 9 月 28 日 (金)～30 日 (日)

会場：神戸国際会議場 (兵庫県) (予定)

会長：米田 博 (大阪医科大学神経精神医学教室)

※日本神経化学会が主催する Asia-Pacific Neurochemistry と連合同開催

12. 第 35 回年会 (WFSBP 2013) について (武田理事長)

全会理事会にて, 以下の通り決定されたことが確認された。

会期：2013 年 6 月 23 日 (日)～27 日 (木)

会場：京都国際会議場 (京都府)

会場：尾崎紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学専攻脳神経病態制御学講座精神医学分野)

※ WFSBP 2013 と合同開催

13. その他 (武田理事長)

① 名誉会員推戴の件

武田理事長並びに米田理事より, 倉知正佳前理事長を名誉会員に推戴する旨, 推薦状が提出された。検討の結果, 全会一致にて承認された。

以上にて閉会